

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 こども応援隊

② 施設・事業所情報

名称：宝塚じあい保育園	種別：保育所		
代表者氏名：理事長 波多正文	定員（利用人数）：120	名	
所在地：宝塚市売布 1-17-7			
TEL0797-26-8881	ホームページ：		
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：平成26年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人ルンビニー福祉会			
職員数	常勤職員： 27	名	非常勤職員： 10
			名
専門職員	(専門職の名称)	名	施設長 1名
	主任 1名		保育士 27名
	栄養士 1名		調理師 4名
	事務員 2名		警備員 1名
施設・設備の概要	(居室数)		(設備等)
	乳児室 1室		保育室 4室
	ほふく室 1室		遊戯室 1室
	沐浴室 1室		一時保育室 1室
	事務室 1室		便所 6室

③ 理念・基本方針

理念：乳幼児期は、人格形成の基礎を培う大切な時期であり、養護と教育を一体的に行い、当園の利用者を支援し、乳幼児の健やかな成長を助ける環境を整備し、最善をつくす。
 方針：子ども一人一人の発達をふまえて、専門性の高い保育
 どの子ども大切にされる保育、遊びを通じて子どもの人格・性格を育てる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

平成26年に開園。保育や子育て支援事業、一時保育を通して地域の関係づくりに努力しています。宝塚市は他市で働く保護者の方も多く、延長保育は20時まで行っており、遅くまで働かれる保護者のサポートも行っています。保育においては、子ども一人ひとりを尊重し、自主性を大切にし、あそび・育児、保育環境を整えることに心掛けています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年7月19日（契約日）～ 平成30年9月7日（評価結果確定日）
受審回数 （前回の受審時期）	0回（平成 年度）

⑥総評

<p>◇特に優れている点</p> <p>施設として掲げる理念や目指すべき職員像に沿って、園長・主任との定期的な面談やクラス会議等での共有と検討、またビデオ研修などが定期的に行われていました。</p> <p>地域の関連施設や関連機関の一覧表があり、教育相談や各種連絡会等にも積極的に参加し地域とのネットワークや交流が図られています。</p> <p>大阪府北部地震の際には、職員会議で避難状況の検証を行ったり、保護者の意見より安否確認の方法を検討したり、災害の体験をマニュアルに反映されていました。</p> <p>日々の様子をボードや写真付きのクラス便りで知らせたり、クラス懇談会で「じあい保育園」の保育を説明している。さらに、乳児へは保育の様子をビデオで見たり、幼児には保育参観を年に2回行ったり、保育の共通理解が良くされていました。</p>
<p>◇取り組みに期待する点</p> <p>職員育成や研修計画も含めて、事業全体の計画や中長期計画として策定され、また組織全体で定期的に見直しや検討する機会を設け、保護者にも園の取り組みや計画等について理解を得るような取り組みが求められています。</p> <p>地域との関係性やネットワークをさらに活性化するために、組織運営の取り組みや運営状況なども含めた園の様々な情報を、ホームページ等を用いて積極的に公開し、地域の方々にもより広く理解されることが、今後期待されます。</p> <p>保育者への保育を伝授するための方法として、一対一での保育の指導と共に誰が見ても分かりやすいマニュアルを整備も必要と考えます。</p>
<p>◇総合所見</p> <p>年齢に応じた保育環境が整えられ、必要な物的、人的な関わりが配慮されていました。乳児は、担当制で一人ひとりの日課に合わせた丁寧な関わりや幼児の異年齢の中での育ちなど「じあい保育園」の大切にしている「遊び」の中での学習を行われていました。</p> <p>懇談会の機会に、保護者に保育の様子をビデオで紹介するなど、保護者理解に努められていました。</p> <p>園長を中心に、1審から2審に向け、マニュアル整備、またPDCAサイクルを意識された取り組みが見られました。</p>

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>今期の第三者評価受審は、職員一人ひとりの様々な取り組みが確認出来ました。</p> <p>記録の取り方の見直しや、マニュアルの見直しも、職員一人ひとりが意見を出し合い、職員同士の連帯感が生まれました。</p> <p>宝塚じあい保育園の独自性を生かしながら法人全体としての長期的な計画のうえに活動をしつづけ、より保育の質の向上に努めたいと思います。</p>

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>法人の理念を「乳幼児期は、人格形成の基礎を培う大切な時期であり、養護と教育を一体的に行い、当園の利用者を支援し、乳幼児の健やかな成長を助ける環境を整備し、最善を尽くす」と定められ、「入園のしおり」やパンフレット等に記載されている。</p> <p>基本方針は「子ども一人一人の発達を踏まえて、専門性の高い保育 どの子ども大切にされる保育、遊びを通じて子どもの人格・性格を育てる」と定められおり、入園児の面接時や、在園中の懇談会等で周知が図られている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>宝塚市民間保育園園長会にて「第2次宝塚市行財政運営アクションプラン」などの資料をもとに社会福祉事業全体の動向について把握しており、入所児童数の動向、延長保育の人数、子育て支援のニーズ調査などが行われている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>法人役員、公認会計士、監事監査等にて経営課題等について話し合われており、社会福祉充実残額算定シート等を用いて経営課題の現状分析と解決・改善に向けた取り組みが見られたが、職員への周知が確認できなかった。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>中長期事業計画が策定しており、資金収支計画に基づいて具体的な内容や数値目標や実施状況が明確にしている。</p> <p>実施状況の評価や必要に応じた見直しについては確認できなかった。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<p>〈コメント〉</p> <p>単年度の事業計画には中長期計画の内容が反映されていない。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c
<コメント> 単年度の事業計画には中長期計画の内容が反映されていない。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
<コメント> 事業計画をわかりやすくまとめた資料を作成して説明したり、事業内容に対する理解を促すような取り組みは確認できなかった。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<コメント> 園長、主任、副主任、クラスリーダーによって組織的に評価するための体制があり、分析・検討する機会が持たれている。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<コメント> リーダー会議や職員会議にて課題の共有化が図られており、議事録等に文書化されているが、評価に基づく改善計画の策定については確認ができなかった。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 園長は、自らの役割と責任について会議等での説明を行っており、中長期計画の組織体制についての項目に自らの役割と責任について明記されている。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 園長は、宝塚市私立保育園会意見交換会に参加し法令等に関する情報を収集している。職員会議のなかで、法令に関する内容を説明する記録が確認できた。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は、職員会議・リーダー会議・給食会議など各種会議に参加して、指導力を発揮したり、「ビデオ研修」などの園内研修や直接現場での指導が日常的に行われたりしている。「保育士評価シート」「主任保育士評価シート」「園長評価シート」といった評価シートを用いて、保育の質の向上に努めている。面談やクラス会議等にて職員の意見も収集していることが確認できた。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<コメント> 人事・労務・財務などの業務において、人員配置や働きやすい労働環境等について法人内管理職にて検討しているが、経営改善のために体制の構築がされていない。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<コメント> 関西圏内の養成校への求人、就職フェアなどへの参加など求人活動に取り組んでいる。中長期計画の中に保育士確保と保育者育成という項目が盛り込まれている。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<コメント> 「期待する職員像」として、「宝塚じあい保育園は、このような保育士を求めています。」と項目を挙げて明確にしている。また、「自己評価表」がランク別になっており、それぞれに専門性や職務内容が明記されており、一定の基準が設けられている。人事基準に関する明確な基準が明確となっておらず職員にも周知はされていない。		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<コメント> 職員の就業状況（有給休暇簿や超過勤務記録など）については、事務員、主任が担当者として定期的にチェックしている。 また、職員休憩シフトなどを作成し働きやすい環境づくりに向けた取り組みが行われている。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント> 個別面談を行い、職員一人ひとりの目標の設定などを行っており、中間面接を行い、次年度の目標等につなげている。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<コメント> 職員の教育や研修については、「新卒研修」「フォローアップ研修」「園内研修」「公開保育」「外部研修」などが定期的に実施されている。 面談を通じて一人ひとりの目標設定も行われているが、研修内容の評価や見直しについては行われていない。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<コメント> 入職時の個別の研修や、外部研修への参加など個々の希望や技術に応じた研修と園内研修や公開保育などを行っており、役職別、テーマ別の研修計画やキャリアアップ研修への参加などの配慮も行われている。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント> 養成校より実習生を受け入れており、担当者にて対応しており、実習生受け入れに関するマニュアルが策定されている。		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<コメント> ホームページなどを活用した、事業計画や報告などの公開が確認できなかった。 園のパンフレットを市の窓口に設置したり、苦情処理規定に基づき、保育相談や虐待・要望・苦情等に関する相談窓口は設けられているが公表がみられない。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<コメント> 経理、取引等については、公認会計士に依頼して、外部監査を行っている。 経理規程を職員で読み合わせるなどして周知が図られている。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>地域の小学校の一覧、発達検査が受けられる病院のリスト、兵庫県特別支援学校一覧など、活用できる社会資源を提供している。</p> <p>「年長児における交流会」地域の保育園・幼稚園による「プレ1年生交流会」「宝塚市私立保育園による交流」など地域との交流を積極的に行っている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>兵庫県保育協会よりボランティアの受け入れ実績があり、ボランティアに関するマニュアルが策定されている。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>宝塚市教育委員会との教育相談の実施や保育所等訪問支援事業、子ども発達支援センターによる訪問指導（年2～3回）、宝塚市要保護児童対策地域協議会などに参加して情報の共有が行われている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>老人会とのかかわり、だんじりへの参加、お話しの会、お楽しみの会（積み木デザイナー積み木おじさん）、親子でヨガ教室、花火を見る会、近隣住民の講師による習字教室などの活動を通じて、地域との交流、連携、支援活動を行っている。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>「保幼小中連携教育推進事業ブロック協議会」や「宝塚市私立保育園園長会」への参加したり町会長や近隣住民との意見交換を行ったりしている。</p> <p>また、「宝塚市保育推進議員連盟」「宝塚市私立保育園会意見交換会」などを通じて福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>把握したニーズを具体的な事業の計画等には明示されていない。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>保育理念は「乳幼児期は、人格形成の基礎を培う大切な時期であり、養護と教育を一体的に行い、当園の利用者を支援し、乳幼児の健やかな成長を助ける環境を整備し、最善をつくす」、また方針としては「子ども一人一人の発達をふまえて、専門性の高い保育」「どの子ども大切にされる保育、遊びを通じて子どもの人格・性格を育てる」と明示している。</p> <p>採用時に個別研修プログラムを作成し、理念・方針、乳児保育、幼児保育の方法について、研修図書を用いて実施している。</p> <p>また、保育環境マニュアルの中に、子どもの人権の尊重、児童憲章・児童の権利に関する条約等、一人ひとりを大切にする保育について示されている。</p> <p>理念・方針等、保育に対する基本姿勢については入園時の説明会やクラス懇談等で説明をしている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「プライバシーの尊重と保護マニュアル」を作成し、職員としての守秘義務や書類の保管、掲示の際の配慮事項、業務上の留意点について記載されており、保育の場面においても、排泄・食事等、生活にふさわしい環境に配慮し一人ひとり丁寧に対応している。</p> <p>また、「子どもの虐待についてのマニュアル」には、身体的虐待・ネグレクト等の発見や対応について明記されており、職員は職員会議等で周知している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>見学者対応は随時行ったり、パンフレットを市役所に設置したりしている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>入園時に説明会を開催し、保育の理念・方針・保育の特色・一日の流れ・持ち物・費用等について分かり易く記載された「入園のしおり」を用いて、説明を行い、園内の写真掲載についても保護者に同意書を提出してもらっている</p> <p>配慮が必要な保護者がいた場合は、役所との連携を図ったり、外国籍の保護者がおられた際もわかるように説明をしたりしているが、マニュアル等のルール化がされていない。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>転園の際には、必要に応じ保育が継続できるよう、生活習慣、遊びの様子等を記載した「経過記録」を作成している。</p> <p>地域の子育て支援事業として相談に応じたり、卒園後も、芋ほりや夏祭りなどの行事に招待しいつでも相談しやすい関係づくりに取り組まれている。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>日々の保育の中で、子どもが主体的に遊びに取り組んでいるか観察し、保護者にはクラス懇談会の際に、保育や運営に対する意見や質問等をアンケートをとるなど、利用者満足の上昇に努めている。</p> <p>また、アンケートの意見・要望に対しては、職員会議やリーダー会議等で検討し、その改善点や考え方について、懇談会で説明を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「苦情対応マニュアル」を作成し、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を記載し、受付から解決、公表までの流れについて明記されている。</p> <p>苦情を受け付けた際は「苦情受付記録」に内容・対応結果・第三者委員への報告等について記録し、保管している。</p> <p>要望・苦情等に関する相談窓口は「入園のしおり」に記載し、入園時に配布・説明を行っている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>相談窓口や第三者委員の案内・いつでも意見を受け付けることが出来る様に「アンケートボックス」も玄関に設置している。</p> <p>また、事務室の一角にプライバシーが保護された相談スペースが設置されている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「苦情対応マニュアル」には、苦情の考え方・対応の基本姿勢等が明示されており、保護者から相談や意見を受けた際は、必要に応じて、担任は主任保育士・園長に報告している。</p> <p>また、懇談会に備えてアンケートを実施し、保護者の思いを積極的に把握する取り組みを行っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>防災防犯担当者を中心に、応急手当の重要性、AED等の「救命講習会」を開催している。</p> <p>また、宝塚市の「事故・けが対応マニュアル」「救急車要請マニュアル」があり、発生時の手順、怪我の状態別の応急処置等が明記されている。</p> <p>受診が必要な事故・怪我が起きた際は、「災害報告書」に発生の状況を記載し、受診にいたらない怪我の場合もクラスリーダーが「災害記録表」を用いて、今後の改善策等を記録している。</p> <p>また、必要に応じて、職員会議等で、防止策や基本姿勢について話し合いがされている。</p> <p>事故防止等の安全確保策として「安全点検表」を整備し、園舎内の設備等について定期的に点検している。</p>		

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>宝塚市の「新型インフルエンザ等対策マニュアル」があり、予防対策が明記されており、職員はビデオで研修を実施している。</p> <p>また、感染症予防対策として、出席停止の感染症一覧表の掲示や、湿温度計や加湿空気清浄機を各部屋に整備している。感染症が発生した際には、園内に掲示し保護者に知らせている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「災害時対応マニュアル」があり、職員の行動、報告手順、避難誘導等についてフローチャートで作成し、火災・地震・水害等に備えている。</p> <p>子ども・保護者の安否確認については、「よい子ネット」を活用し、あらゆる時間帯の災害を想定した文書をあらかじめ作成して発信がスムーズにいくようにしている。</p> <p>食料や備品類については、「保存食料・避難セットチェック表」を作成し、担当者が使用期限等をチェックしている。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>ノロウイルス等の「食中毒発生時の対応マニュアル」があり、予防のポイント、消毒・手洗いについて明記されている。</p> <p>食中毒発生した場合は「感染症・食中毒発生報告書」を用いて、市に報告している。</p> <p>嘔吐物処理の備品は各保育室に整備し、ビデオ等で研修を行っている。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「不審者侵入・防犯に関するマニュアル」があり、県警ホットラインの使用方法等について明記され、毎年、警察の指導の基、防犯訓練を実施している。</p> <p>防犯対策として、玄関ドアは完全施錠をしたり、防犯グッズを整備したりしている。</p>		
<p>Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保</p>		
		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>乳児保育・幼児保育の研修図書を用いて、食事・排泄・着脱等の生活面の手順や、遊びについての環境構成や子どもへの関わり等、文書化している。</p> <p>また、子どもの日課を基準に、平日及び土曜日の保育士の業務内容を明記したり、わらべうた・体育遊び・美術・文学の年間カリキュラムを作成したりしている。</p> <p>わらべうたの外部講師を招いて、保育の質の向上に向けて研修会を実施している。</p>		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>指導計画の見直しについては、年に4期・月間・日毎、評価・反省を行っている。</p> <p>保育の標準的な実施方法についてはビデオ検証を基に、流れる日課・職員の協同性・子どものかわり方等について職員間で検討し、気づきや改善点を明確にされて、保育の質の向上に取り組まれている。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>入園時に個別面談を実施し、「児童保育記録」を用いて、家庭保育の様子・既往歴・予防接種・健康上の留意点・離乳食等の食事面・発育状況・生活習慣等について聞き取りを行っている。また、アセスメントの内容に基づき、個別指導計画を作成し、家庭保育から園生活へスムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>アレルギーを持つ子、熱性けいれん等の既往歴がある子どもがいる場合は、所定の様式を用いて医師との連携を図っている。</p>		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>保育課程を基に、年間・月間・日の指導計画を作成したり、評価・反省を記載したり、次の指導計画に反映されている。</p> <p>保護者の意向は日常のコミュニケーションから把握し、個別の指導計画に反映している。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>職員会議で子どもの様子について情報共有し、子どもの発達状況や成長面は、全園児個別の「保育経過記録」に記録している。</p> <p>0, 1, 2歳は毎月個別に成長の振り返りや援助について、また3歳以上児は年4回、生活面遊びについての成長を記録している。</p>		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「個人情報保護に関する基本方針」があり、個人情報の適切な管理についての記載がある。</p> <p>職員は、守秘義務や個人情報漏えいに対する対策を講じている。</p> <p>記録の保管は事務所で園長が責任者となり管理している。</p>		

評価対象 A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a

特記事項

- ① 保育課程は、子どもの発達過程や地域の要望を考慮して編成している。年間指導計画を評価・反省して、保育課程の見直しを行っている。
- ② 「保育環境マニュアル」があり、保健的環境や安全の確保などに努めると記載し、子どもたちがくつろげる環境を整えている。
- ③ 「保育士マニュアル」の中に「保育士の言動が子どもに大きな影響を与えるとあり」、子どもの気持ちを受け止め適切に対応している。
- ④ 子どもの発達に合わせて、基本的な生活習慣が身につけられるように保育者が関わることを年間指導計画に記載されている。
また、一人ひとりに合わせた対応をしている。
- ⑤ 各保育室には、発達に合わせた遊びの環境が整備されている。
「保育環境マニュアル」を用いて、環境を通して行う保育の重要性を大切にし、毎日、幼児は体操、乳児は粗大運動を行っている。
- ⑥ 保育担当制で子ども一人ひとりの日課を大切に保育を行い、毎日の連絡ノートで家庭との連携をとっている。
- ⑦ 保育室は、探索活動が行われるような環境が整えられ、「年間指導計画」の保育者の配慮に、子どもの気持ちを受け止め、次の意欲につなげることが記載され保育者が適切に関わっている。
- ⑧ 3歳以上児は、異年齢のクラスで過ごし、年齢ごとの目標が立てられている。
5歳児では就学に向けた一人で行う課題を決めるなど、年齢に応じた援助を行っている。
- ⑨ 年間指導計画、個別支援計画を作成し、子ども発達支援センターとの連携のもとに一人ひとりに合わせた対応を行っている。
5歳児には、宝塚市が行っている発達相談のお知らせを配布するなど、障がいのある子どもに関する取り組みを知らせている。
- ⑩ 長時間保育の職員間の引継ぎは、引継ぎノートに子どもの体調を書き込み、延長保育の担当者と連携を持ち保護者に伝えている。
- ⑪ 「宝塚市保幼小中特別支援学校合同研修会」で連携を取り、保護者には、クラス懇談会で就学に向けて家庭で取り組むことを知らせている。
- ⑫ 「健康管理マニュアル」に基づいて、子どもの健康状態を把握、保育記録に記載し、職員会議で報告を行い関係職員が周知できるようにしている。
「事故・けがの対応マニュアル」があり、適切な対応がされ、保護者へ報告を行っている。
- ⑬ 検診の結果は保護者に伝えられ、幼児より歯磨き指導を行うなど保育に反映している。
- ⑭ アレルギー疾患は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」によって対応を行い、医師の指示によりアレルギーの除去を行っている。
- ⑮ 「食育計画」が作成され旬の食材を使ったメニューを取り入れたり、栽培をしたさつま芋でスイートポテトを作ったり、子どもが食について関心をもてるよう取り組みをしている。
保護者に対しても、給食日より食材やレシピを掲載するなど食に関する取り組みを知らせている。
- ⑯ 「給食会議」で保育者から喫食状況を伝え、野菜の切り方や調理の工夫などを検討している。
実際に、調理担当者は保育室に行き子どもの喫食状況の把握も行っている。
献立は旬の食材を使用し、行事食として節分の鯛やひな祭りのちらしずしなどを取り入れている。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a

特記事項

⑰	乳児の「連絡ノート」があり、複写式で家庭と保護者との情報交換の内容が記録されている。日々の保育の様子は、ボードに記入したり、写真付きのクラス便りで知らせたりしている。また、幼児を対象とした保育参観、乳児のビデオ上映会など、様々な機会を通して子どもの成長を知ることが出来る。
⑱	日々のコミュニケーションを大切にし、相談を受け入れる体制があり、内容によっては園長が対応している。
⑲	虐待のおそれがある場合は、職員会議で情報を共有し、子ども家庭センターへ連絡、保護者と懇談を行うなどの対応をしている。

A-3 保育の質の向上

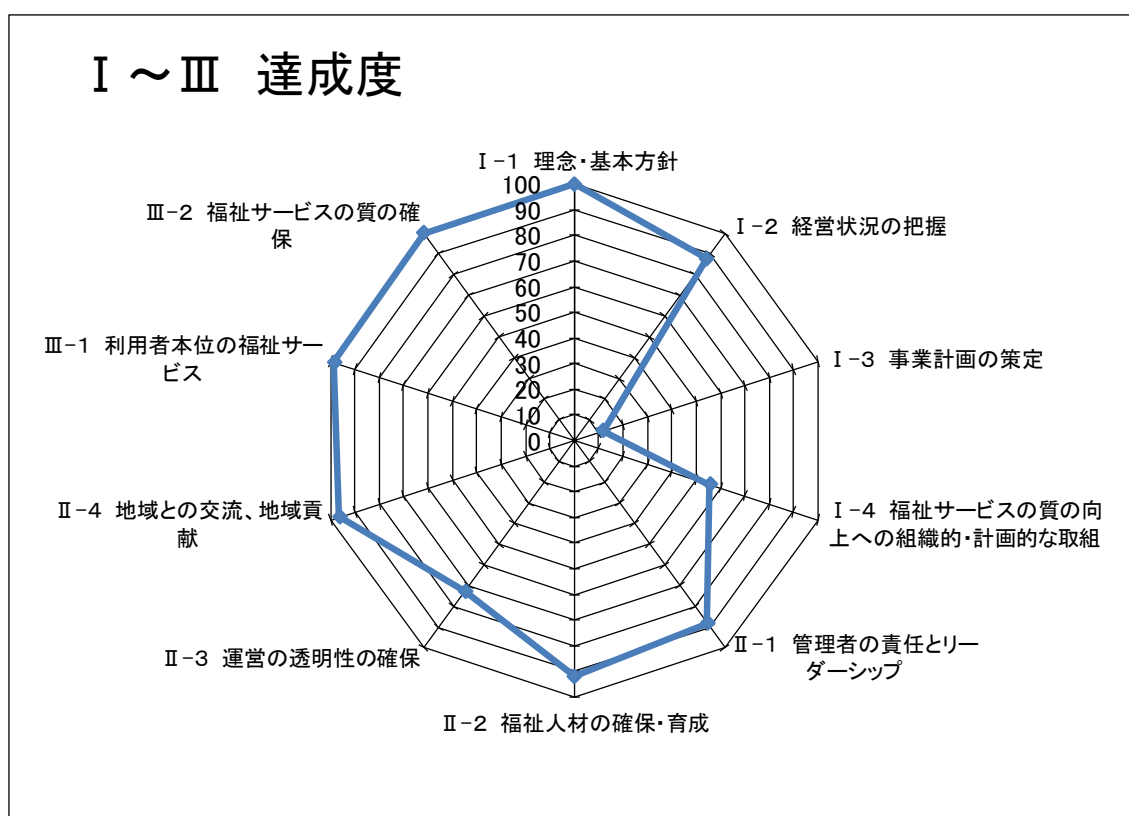
		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a

特記事項

⑳	保育者の自己評価を定期的に行っている。 「乳児保育について」研修を行い、日々の保育をビデオに録り確認することで、子どもの活動環境などを話し合い、子どもの育ちや意欲につながるように、自らの保育の振り返りを行っている。
---	--

I～III 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 理念・基本方針	7	7	100.0
I-2 経営状況の把握	8	7	87.5
I-3 事業計画の策定	17	2	11.8
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	9	5	55.6
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	17	15	88.2
II-2 福祉人材の確保・育成	38	35	92.1
II-3 運営の透明性の確保	11	8	72.7
II-4 地域との交流、地域貢献	27	26	96.3
III-1 利用者本位の福祉サービス	74	73	98.6
III-2 福祉サービスの質の確保	33	33	100.0
合計	241	211	87.6



A 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 保育課程の編成	5	5	100.0
1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	64	57	89.1
1-(3) 健康管理	17	17	100.0
1-(4) 食事	15	15	100.0
2-(1) 家庭との緊密な関係	4	4	100.0
2-(2) 保護者等の支援	13	13	100.0
3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	6	6	100.0
合 計	124	117	94.4

総合計(I~Ⅲ+A)	365	328	89.9
------------	-----	-----	------

